

迎春



かけはし



MACB
QRコード

編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

Tel.077-523-0034

新年のご挨拶

中部方面混成団長

一等陸佐 武政賢一



新年のご挨拶

中部方面混成団友の会

会長 田中清司



中部方面混成団の隊員諸官及びご家族の皆様、そして「かけはし」愛読の皆様、明けましておめでとうでございます。
ご家族そして会員の皆様には平素から中部方面混成団に対し、ご支援ご協力を賜り御礼申し上げます。
今年には中部方面混成団に豊川駐屯地に所在する第四十九普通科連隊が新たに加わり、中部方面隊全ての教育部隊とコア普通科連隊が混成団隷下部隊となる大きな節目となる年です。

混成団は任務を完遂するため「基本教育の質的向上」と「あらゆる事態に必要な練度の向上」を主眼として隊務を運営してまいります。

混成団で実施する新隊員や陸曹等に対する教育は、部隊に大きな影響を及ぼす重要なものです。そのため各部隊が混成団の教育・隊員指導に期待していることを確認して教育に反映し、部隊に役立つ隊員のためになる教育を行うことが重要と考えています。

私たちは我が国の守りや災害派遣等のあらゆる事態に備え任務を完遂できるよう練度向上に努めなければなりません。そのため、常備自衛官と即応予備自衛官で構成されている普通科連隊は両者が一体となつて着実かつ段階的に練度の向上を図ります。そして混成団は一丸となり最善を尽くして任務を遂行してまいります。最後になりましたが皆様方には今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様方がご健勝で幸多からんことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



中部方面混成団の隊員、ご家族の皆様、明けましておめでとうでございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、近隣諸国の理解しがたい行動が多く発生し、東アジア地域での平和が軽視されていくことに大変不安を覚える昨今でございます。

私事ではありますが、昨年十一月二十七日に陸上自衛隊記念日に山下名誉会長と朝霞駐屯地の観閲式に参列させていただきました。たゆまぬ訓練をつみ重ねてこられた、一糸乱れぬ連隊を見て、感動し目頭があつくなりました。今までの日本は、「安心・安全」が当たり前の世の中でありましたが、近隣諸国、世界各国の情勢を考えますと、「国民一人一人が、強い国防を望まないかぎり、平和な国は保ち得ない」との安倍総理の訓示にも共感いたしました。

自然災害等の国内の非常事態には、絶大な力となつて、国民の為に働かれる隊員の皆様も、これからは益々世界にも目を向けて頂き、日本国の為、家族の為、そして自分自身の為に「国防」につくして下さいますことを願わずにはいられません。私たち混成団友の会も、今年も精一杯応援させて頂かなければと、心引き締まる思いでございます。どうか会員の皆様、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。最後に、隊員の皆様、友の会の皆様の益々の多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

第四十七普通科連隊長

一等陸佐 齊藤 肇夫

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年十二月中部方面管内の即応予備自衛官部隊の魁である第四十七普通科連隊の第七代連隊長を拝命しました。

連隊はこれまで諸先輩方が築かれました歴史と伝統を継承しつつ、三月に予定されている第四中隊及び重迫撃砲中隊の新編を含む改編が整齊と実施できるよう準備を進めております。四月以降は訓練出頭先駐屯地としてこれまでの海田市、山口、出雲、米子、善通寺、松山に姫路が加わり、より広い地域から、より多くの、また幅広い経験を持つ即応予備自衛官とともに引き続き練成する所存でありますので、今後とも新たな第四十七普通科連隊に対するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶

第四陸曹教育隊長

一等陸佐 谷 俊彦

新年明けましておめでとうございます。第四陸曹教育隊は、中部方面隊の陸曹教育を担任しております。陸曹候補生、普通科職種初級陸曹、上級陸曹、最先任上級曹長、陸曹基礎英語の教育です。教育は、部隊に役立つ陸曹の育成を狙いに、精神分野の向上、知識技能の向上、体力の向上により、地位に応じた能力を付けさせます。部隊の核心である陸曹には、任務・仲間のために危険苦勞を顧みず尽くす心とチームワークを助長する心、部下の死傷病の防止と厳しい条件でも任務継続遂行のための人的・物的損耗防止能力、疲れ知らない体力が、全ての基盤として不可欠です。これらの能力を保有する者を「戦士」という言葉で表現し、教育者、学生とも、「戦士」の能力向上と地位に応じた能力の向上に日々熱く努力しております。

皆様、このように熱く努力する第四陸曹教育隊に対し、本年も変わらぬご指導・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

第一〇九教育大隊長

二等陸佐 猪股倫夫

新年明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様が希望に満ちた清しい日々をお過ごしのことと存じます。一〇九教育大隊は、これから陸上自衛隊を担う一般陸曹候補生前期課程、自衛官候補生課程、予備自衛官(補) 招集訓練と自衛隊車両の操縦手を育成する大型車両操縦課程の合計、約二〇〇〇名の教育訓練を担当しております。また二十四年度からは、三曹から二曹に昇任した隊員を対象とした中級陸曹集合教育(約三〇〇名)を行っております。大隊は、困難な状況にぶつかってもチームで知恵を出し、助け合い、最後まで諦めずに任務が完遂出来る、そのような「しなやかさ」を持った隊員となる礎を築く事が出来る様に「明るく・元気に・前向きに」を合言葉に引き続き教育訓練に邁進していく所存です。皆様におかれましては、本年も宜しくご指導・ご鞭撻の程お願いいたします。



新年のご挨拶

第一〇九教育大隊長

二等陸佐 玉木章二

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えになられた事と心からお慶び申し上げます。

さて、益々教育の重要性が増すなか、大隊は、「一般陸曹候補生」及び「自衛官候補生」並びに中級陸曹集合教育を担当するとともに、予備自衛官等の教育を実施しております。この様に新隊員の教育から中堅陸曹、更に予備自衛官等まで幅広い教育任務を遂行しております。教育にあたっては、常に「視点は高く、視線は低く」を念頭に、今後とも「いかなる厳しい任務にも対応する【戦士】の育成に精進努力する所存であります。また、防衛警備等あらゆる任務の完遂に努めて参ります。

本年も引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新部隊長紹介



武政団長より紹介を受ける連隊長



連隊長 齊藤1佐着任

第四十七普通科連隊 第七代連隊長着任

平成二十五年十二月一日付で、第四十七普通科連隊長に齊藤一佐が着任した。隊員が整然と並ぶ中、着任の辞において、要望事項「ともに前へ」を示され、明るく前向きで活力ある部隊とすることに全力を尽くすことを誓われた。

要望事項

「ともに前へ」

プロフィール

生年月日

昭和三十七年十二月十四日

出身地

群馬県

趣味

山歩き・城郭めぐり

主要勤務地

第二十五普通科連隊

普通科教導連隊

富士学校（総合開発研究部）

業務学校

第三十九普通科連隊第二中隊長

陸幕防衛部研究課

イラク復興業務支援隊（クウェート）

幹部学校付（AGS/JAC）

第六師団第三部長

中部方面総監人事部厚生課長

（遠軽）

（滝ヶ原）

（富士）

（小平）

（弘前）

（市ヶ谷）

（目黒）

（神町）

（伊丹）



威風堂々の観閲行進



車両での観閲行進



巡 閲



全員とハイタッチを交わす有浦1佐



離任式

有浦一佐は、第四十七普通科連隊長としての二年四ヶ月の勤務を終え、平成二十五年十二月一日付をもって第四師団司令部付になり、平成二十六年二月二十四日付をもって定年退官される。



第六代連隊長 有浦一佐離任



新たな出発を祝う

連絡

中部方面混成団のQRコードができました。皆さんドシドシご利用下さい。



MACB QRコード

第四十七普通科連隊



小銃小隊戦闘射撃競技会

即自競技会参加

第一中隊は、十一月十八日平成二十五年小銃小隊戦闘射撃競技会を高屋射場において常備自衛官、即自を選手として実施した。

一コ分隊五名を一コ射群として十四コ射群（十四コ分隊）で行われた。

競技は、曇りでかなり寒い中行われ、点差が開かずどの小隊が優勝するのか最後まで分からない展開になり、最終射群の第一小隊が最高得点をたたき出し、第三小隊に僅かな差で見事逆転優勝した。

また競技会と併せて香川・高知の即応予備自衛官雇用企業主の研修を支援した。



戦闘射撃競技会に意気込みを見せる即応予備自衛官



企業主等に暗視眼鏡（V3）を説明する山本曹長



見事に逆転勝利を決めた第1小隊

あいば野演習場で迫撃砲射撃訓練

四曹教友の会等 教育研修

第四陸曹教育隊長（隊長 谷 俊彦一佐）は平成二十五年十二月六日、基幹隊員家族及び第四陸曹教育隊友の会、高生や、京都地方協力本部招待の京都産業大学学生等を招いての教育等研修（120mm迫撃砲実弾射撃訓練、PAC3等見学）支援を実施した。

当初、あいば野演習場において普通科教育中隊が実施した120mm迫撃砲実弾射撃訓練を研修。参加した方々は、統制された自衛官の厳格な行動に感動するとともに、間近で見る120mm迫撃砲射撃の轟音や弾着時の閃光に歓喜を上げた。「テレビで見るとは違いリアルティーがありますね。」と感動している大学生もあつた。

その後、航空自衛隊饗庭野分屯基地へ移動し、第四高射群第十二高射隊の協力を得てPAC3等の装備研修を実施した。

隊はこれからも隊員の活動について部内外広報を積極的に行い、基幹隊員家族や部外関係者に対する理解を図っていく。



120mm迫撃砲実射訓練見学



普通科教育中隊長による説明

第四陸曹教育隊



第一〇九教育大隊

◆第三期中級陸曹集合教育を担任

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫二佐）は、十一月二十日から十二月六日の間、第三一四共通教育中隊（中隊長 越智大善一尉）担任で、第三期中級陸曹集合教育を行った。本教育には中部方面隊内（三師団、十師団、方面直轄部隊等）から、二等陸曹一四七名が参加した。教育開始にあたり大隊長は「中級陸曹としてのリーダーシップとフオロアアップの発揮」を要望した。教育内容は、前衛分隊の行動、小銃分隊の攻撃、戦闘訓練指導法、訓練管理、情報管理、補給管理及び服務教育等であり、十一月二十八日から十二月一日は青野ヶ原演習場（兵庫県）において総合訓練を行った。十七日間という教育期間の中で全員が終始熱心かつ積極的に取り組み、中級陸曹としての地位・役割を自覚させるとともに、資質を向上させることができた。



極寒の青野ヶ原演習場を警戒しながら前進



服務教育で討議している様子



戦闘間負傷した仲間を応急処置



細部までこだわる指導法

平成二十五年十一月十九日から同年十二月六日までの間、第三期中級陸曹集合教育に区隊付として参加した。教育の内容は「指揮の要訣の実践」を軸に、小銃分隊の攻撃の場面を捉えて実施し、中級陸曹として必要な知識・技能の修得及び資質を向上させるというものであり、併せて普段の自分の業務に照らし合わせることで中級陸曹としてのあるべき姿を再認識させることができた。学生達は真摯に取り組み、本教育で学んだことを部隊で活かしたいと胸を張っていた。指導部として教育に参加したが、私自身も大変勉強になり、今後の中曹教育が更に良い教育になるよう知識を深め、教育技法・AAR技法等の向上が必要だと改めて感じた。

第三期中級陸曹集合教育

第三三三共通教育中隊

一等陸曹 鳴尾 賢

第一一〇教育大隊



命令下達



全力を振り絞った突撃

中部方面混成団持続走競技会

25年度

団持続走競技会

第一〇教育大隊二連覇達成

部隊・個人の名誉をかける

青野ヶ原演習場を駆ける

中部方面混成団(団長 武政賢一 一佐)は、十二月二十三日、青野ヶ原演習場において持続走競技会を実施した。競技会は、軽武装(戦闘服、鉄帽、半長靴、弾帯、サスペンダー、水筒)の個人走により各部隊が競い合った。選手達は、起伏のある演習場内の5kmコースを、「必勝の信念」をもって、部隊・個人の名誉をかけ、日頃の練成の成果を発揮した。また、本大会の実施にあたり、日頃の練成の成果を発揮した。援に駆け付け、熱のこもった激励により各選手の力走を後押しした。

競技会の結果については、第一〇教育大隊が第一〇九教育大隊との接戦を制し見事二連覇を達成した。その他の結果については、下記のとおり。



ゴール前で0.6秒差の大接戦!

【4曹教中村2曹、左、109教片田2曹、右】

団体の部

優勝
第110教育大隊

準優勝
第109教育大隊



激励品(スポーツ飲料)の贈呈をする田中会長



名誉をかけた出走する隊員



スタータを行う団友の会長



心臓破りの坂を駆け上る隊員



最後の坂で突撃ラッパを吹く隊員



敢闘賞受賞

個人の部

- 第一位 四曹教 中村二曹
- 第二位 一〇九教 片田二曹
- 第三位 一〇九教 白須三曹
- 第四位 一〇九教 茂山二曹
- 第五位 一〇九教 中塚三曹
- 第六位 一〇九教 尾崎三曹
- 第七位 四七普通連 柴野二曹
- 第八位 一一〇教 久保三曹
- 第九位 一一〇教 高本三曹
- 第十位 四七普通連 田中二曹

敢闘賞

- 二九歳以下
- 第一〇九教 中尾三曹
- 三〇〜三四歳
- 第一〇九教 松下三曹
- 三五〜三九歳
- 第一〇九教 瀧本二曹
- 四〇〜四四歳
- 第四七普通連 河野二曹
- 四五〜四九歳
- 第四七普通連 糸賀三尉
- 五〇歳以上
- 第一〇九教 三好准尉
- 女性自衛官の部
- 第一〇九教 三宅三曹



団友の会、大津自衛隊協力会から贈られた激励品

隊員の1年を労う

大津駐屯地（司令 武政賢一 一佐）は、平成二十五年十二月二十五日（水）駐屯地年末行事を、隊員の慰労と隊員家族・協力団体への日頃の感謝を込め盛大に開催した。

本行事は、協力団体、大勢の隊員家族等の参加を得て、餅つき大会、大抽選会等を行い、また、協力団体から各部隊にジャンボケーキ、ワインなどが振る舞われ、今年一年を締めくくる盛会な行事となった。

大津駐屯地年末行事盛大に開催



大津駐屯地ラッパ隊による演奏



餅をつく 隊員家族



木村准尉の見送り

中部方面混成団本部

管理科、木村曹長は、平成二十五年十二月二十四日付で准陸尉に特別昇任し、三十五年八カ月の自衛隊勤務を全うされ、定年退官されました。



西岡3尉の紹介と見送り

第二〇教育大隊

西岡准尉は、平成二十五年十二月十四日付で三等陸尉に特別昇任し、三十五年二カ月の自衛隊勤務を全うされ、定年退官されました。



定年退官

家族投稿

第四十七普通科連隊改編準備隊

宮川 さゆり（宮川二尉夫人）

はじめまして、私は、八月に、香川県善通寺から引越してきました。

家族構成は、主人と長女の愛子、小学四年生の次女麻衣子、小学二年生長男の竜馬と私の五人家族です。

出身地は、主人も私も北海道で、香川県には、約五年半住んでいました。

香川県は、うどんが安く食べれます。住みやすい所でした。

広島は、香川に比べて、車も人も多く、お好み焼きも有名で、広島風のお好み焼きを食べたことがないので、楽しみにしています。

まだ、来たばかりで、子供も私も、慣れていないですが、早く、広島県に慣れて良い思い出を作りたいと思います。



広島平和記念公園にて家族で記念撮影



第四十七普通科連隊 本部管理中隊
二等陸曹 多尾 知徳

新年明けましておめでとうございます。今年で三十六歳となり、年男という節目の年を迎えました。入隊当初は、この先自衛官としてやっていけるのか大変不安に思っていたことを昨日のように思い出します。しかしながら、周囲の上司、先輩、同僚、後輩、本当にたくさんの方々に支えて頂き、今の充実した自分を築くことができました。

今年の抱負としては「初心に返り、知識、技能に、より一層の磨きをかけ、部隊に貢献する」、「即応予備自衛官と公私共々、より一層の信頼関係を構築する」以上二点を胸に、この一年精進したいと思ひます。

また、私事ではありますが、四月に第二子が誕生します。更に責任が増したことを十分に自覚して、自分の生きる基礎である家庭を守り、家族を大事にして、子育てを妻だけに押しつけず、共に助け合い明るい家庭を築いていきたいと思ひます。今年一年精一杯頑張ります。

年男・年女新年の抱負



混成団本部総務科
三等陸曹 和田 祐里

新年明けましておめでとうございます。若いと思っていたのは気づかりで、今年〇回目の年女という節目を迎えました。昨年は私事では、大きな怪我や病気もなく健康で過ごすことが出来ました。また、仕事では、周りの方々の

ご指導・ご鞭撻のお陰で充実した勤務をさせて頂くことが出来ました。今年の抱負と致しまして、大それた抱負ではありませんが挙げさせていただきますと、自衛官として、「挑戦・献身・誠実」の心得でもって誇り高く職務に邁進するとともに、また一社会人として「思いやりの心」と「笑顔」を絶やさず、微力ながらではございますが、地域社会に貢献していけるようより一層尽力して行く所存であります。

あと私事と致しまして、世界遺産に登録された、日本の誇り富士山の頂を目指したいと思っております。引き続きこんな年女の私ではございますが、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



第一〇九教育大隊
第三一四共通教育中隊
二等陸曹 片田 堅

明けましておめでとうございます。今年3回目の年男ということになります。抱負を述べたいと思ひます。私は毎年元旦に一年の目標を立てます。目標と言ってもマラソンの目標です。

ただ毎年同じ目標になります。それはびわ湖毎日マラソン、福岡国際マラソンで自己ベストを出す事。しかし、平成十九年以降この目標は達成していません。私にはこの目標に挑む意味があります。指導者、練習環境、生活環境、仕事内容、すべてが変わってしまった状態では自分ごとまで挑む事ができるのかここに意味があると思ひます。幸い大きな怪我もなく、ここまで走り続けてこられました。自分の夢を追えるのも、皆様の理解があつての事と感謝しております。今年はその皆様に少しでも恩返しできるよう、一層努力を重ねて行こうと思ひます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



第一一〇教育大隊
第三一七共通教育中隊
二等陸曹 八田 一範

明けましておめでとうございます。入隊してから気がつく二回目の年男を迎える日が来ました。

自衛隊生活を振り返り、今まで大きな事故もなく職務に邁進できたのも一重に上司、同僚に恵まれ、また家族の理解と支えがあったからこそとつくづく思ひます。新隊員の教育を主たる任務とする部隊で、自分自身も学ぶことが多く、また教育に携われることに責任と誇りを持ち、再度節目の年に襟を正し職務に邁進していこうと思ひます。今年には昨年以上に体力錬成を心がけ、健康に留意し、自衛官として更に磨きをかけていくと共に、家族サービスを忘れず日々支えてくれている家族を大切に、年男の節目がこれからの人生のプラスになるよう邁進していきたいと思ひます。

かけはしのバックナンバー
いつ見るの？
今でしょ！



MACB
QRコード